

# 丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街 西尾 地域の活性化を 愛知県西尾市で開催

「丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街 西尾」が3月17、18日に愛知県西尾市で開催された。全国で約5000本が残っている丸型ポストを活用、郵便局と連携して地域活性化を図っているルーツが集まって情報交換した。西尾市、西尾市教育委員会、商工会議所、観光協会、西尾郵便局が後援した。西尾市には特産の抹茶の色をした丸型ポスト「おもてなし♥まごころポスト」が設置され、市民に親しまれている。



中村西尾市長



尾崎教育長



渡辺泉会議員

「丸型ポストで地域の活性化を進め、手紙文化の振興に努める」とことが目的。全国から郵便局長や丸型ポストの愛好家が集まり、地域おこしなどについて活発に意見を交換した。来年は間伐材を活用した「木製丸型ポスト」のある神奈川県小田原市で開催される。



小学生が記念投函



「丸型ポスト」の齋藤さんと庄司さん。3月18日、井桁屋公園



「丸ポストの唄」を披露するエレア・シーさん



藤さんは郵政事業に関する多くのコレクションがあり、抹茶色ポストの設置に尽力した。ルーブル美術館で「モナ・リザ」をシャガールに似せて公認模写したことで知られる。

また、国道23号線が走っているが「23はふみ」。道の駅もあり、そこにリンクの「人生バラ色ポスト」を設置したい」とユーモア交えた話に会場はわいた。

松鶴園の工場見学、記念撮影に続き、抹茶色ポストの設置にも関わった丸型ポスト写真家、庄司巧さんが郵便創業時の制服姿が登場。母校の同明高校(名古屋)放送部が制作した手紙をテーマにしたラジオドラマ「想いを託す赤丸ポスト」を紹介した。また、庄司さんは丸型ポストへの思い、全国から集まった郵便局長らは特徴ある丸型ポストと地域との関わりについて述べた。

丸型ポストフェスティバルは、平成27年に「幸福の黄色い郵便局ポスト」(四季彩通り商店街)のある宮城県大崎市で丸型ポストサミットとして第1回が開催された。28年にはリンクの「幸運のえにしづくポスト」(カラコロ工務)の松江市、29年からはフェスティバルと改称、「白いポスト」(犬吠燈台)の手葉栗鈿子市で開催され、今回で4回目となる。

丸型ポストは1949年、木俣紀之が司会、主催者として岡田裕明委員長が「丸型ポストで支社約5000本。東海外にも利用した。西尾局エリアでは12本が活躍している。長く保存していきたい」と語った。

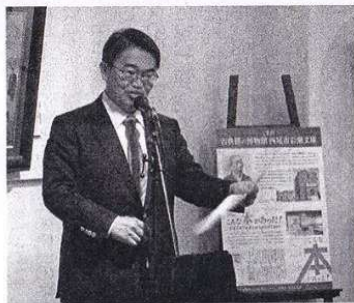
議員(元西尾郵便局長)が紹介され、藤川正浩局長、名古屋市の「徳川宗春ポスト」は舟橋幸江さん、長野県塩尻市の「丸型郵便局のLEE TEE R POST」は小澤肇さん、腰原幸明さんが「ふみの街 西尾丸」型ポストのご縁と題して基調講演を行った。斎藤さん、庄司さん

が日本一。スイーツにも使われるようになり海外でも人気がある。多くの人々に利用した。西尾局エリアでは12本が活躍している。長く保存していきたい」と語った。

18日は抹茶色ポストが設置されている井桁屋公園で、設置10周年の記念イベントが行われた。西尾市では昭和20年代に鋳物工場で丸型ポストが造られていた。平成20年に静岡県浜松市の旧佐久間中学校で保存されていた丸型ポストが寄贈され、井桁屋公園に設置され、市民に親しまれているほか、新たな観光名所となっている。通信文化協会調査・前郵政博物館長 林健志さん、名古屋福徳郵便局の加藤芳隆局長ら多くの郵政関係者も開かれた。



3月17日 松鶴園での情報交換会。基調講演をする齋藤さん



大村愛知県知事



創業時の制服の庄司さん



岡田実行委員長



重徳衆院議員



西尾局の朝倉局長



若杉社長

通信文化新報 (毎週月曜日発行) 平成 30 年 (2018 年) 4 月 2 日 (月曜日)

## 丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街 西尾

5面に特集